

福岡看護大学 社会連携・社会貢献の方針

福岡看護大学が有する人的・物的・知的資源を活用するとともに、地域や行政および医療・保健・福祉関係機関等との連携関係を構築し、健康長寿社会の形成および地域社会の活性化に資するため、以下のとおり、社会連携・社会貢献の方針を定める。

1. 地域連携センターにおいて地域連携の在り方を体系的に整理し、地域連携推進戦略を策定するとともに継続的な地域貢献活動を行う。
2. 地域連携センターを中心に、地方自治体、看護協会、医師会・歯科医師会等の公共団体、産業界および福岡都市圏大学との連携を推進し、地域の課題を共有し、協働して解決に努める。
3. 社会貢献推進委員会を中心に、地域連携センターおよび医科歯科総合病院病診連携室と協働して地域の医療・保健・福祉等に係る諸問題を検討し、地域社会の発展と課題解決に貢献する。
4. 社会に開かれた大学として「公開講座」「講演会」「出前講座」「看護職等継続教育支援」「小中高教育支援」等の生涯教育事業を通じて、教育研究成果を継続的に発信し地域社会に貢献する。
5. 医療に関わる人材を育成する大学として、看護学および保健医療福祉における多職種医療人への展開をはかり、健康長寿社会の形成に貢献する。
6. 国際交流を積極的に展開し、国際的視野を持つ医療人や教育・研究スタッフの育成を図るとともに研究活動の国際的展開のための基盤形成を推進する。